

中央家畜衛生広報

福島県中央家畜保健衛生所

〒963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷114-12

TEL 0247-57-6131 FAX 0247-57-6144

死亡牛搬入専用TEL:090-5844-5300

E-mail kaho.lhs08@pref.fukushima.lg.jp



令和2年5月号

令和2年度の検査計画

令和2年度は下記のとおり検査を実施しますので、御協力をお願いします。

検査項目	対象家畜	対象地域	検査手数料
ヨーズ病	肉用繁殖牛 乳用牛	郡山市（阿久津町、下白岩町、喜久田町、湖南町、荒井町、大槻町、大平町、田村町、日和田町、白岩町、富久山町、片平町）、浅川町、三春町、田村市船引町（芦沢、永谷、遠山沢、荒和田、笹山、春山、文珠、堀越、門沢、柗山）、田村市滝根町、小野町（吉野辺、小野新町、飯豊、浮金）、白河市、中島村、いわき市（遠野町、四倉町、小川町）	1,000円/頭
腐蛆病	蜜蜂	管内一円	70円/群
オーエスキー病	豚	管内一円	600円/頭

定期報告書の提出をお願いします

家畜伝染病予防法(家伝法)により家畜の所有者は毎年、家畜の頭羽数及び飼養状況に関し、県知事(家畜保健衛生所)へ報告することが義務付けられています。なお、提出期限を過ぎても受け付けていますので、未提出の方は**提出をお願いします**。

家畜保健衛生所に加え、各市町村畜産担当課及び各所属畜産団体でも提出を受け付けています。

提出期限

①牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし：4月15日まで

②鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥：6月15日まで

豚、いのししの飼養衛生管理基準が改正されます

令和2年3月9日に豚・いのししの飼養衛生管理基準の改正が公布されました。改正内容としては、豚熱での経験を踏まえた、より高レベルの疾病防御体制の構築を目指したものとなっています。実際に新しい基準が適用されるのは令和2年7月1日（一部の項目を除く）ですが、内容を確認して、新しい基準に対応した飼養環境を実現しましょう。

大きな改正点

- ✓ **飼養衛生管理のマニュアル作成**
靴や車両の消毒方法等、定められた項目についてマニュアルを作成する。
- ✓ **愛玩動物の飼育禁止**
猫等の愛玩動物の衛生管理区域内への持ち込みや、区域内での飼育禁止。
- ✓ **野生いのしし侵入防止柵の設置**
柵の設置が義務化。設置後は、定期的な破損箇所の確認を実施。
- ✓ **衛生管理区域から退出する車両の消毒**
今まで実施していた入場時の消毒に加え退出時も車両の消毒を実施。

詳しい内容は、農林水産省HPに掲載されています。

農林水産省 飼養衛生管理基準

検索

豚熱発生状況

豚熱は令和2年2月25日、沖縄県で発生した国内58例目を最後に、農場における新たな発生は確認されていません。しかし、本州では豚熱感染疑いのいのししの発見が続いています。4月22日には群馬県で2頭、24日には新潟県で2頭の陽性が確認されました。

飼養衛生管理基準を遵守し、疾病の発生を防ぎましょう。

CSF感染野生いのしし発見地点
(令和2年4月17日時点、一部追加)



- 感染いのしし発見地点
(4月10日以降の発見地点は●で表示)

<野生いのしし検査状況>(令和2年4月17日時点)

群馬県	陽性 23頭、陰性 1,007頭	(計 1,030頭検査)
埼玉県	陽性 85頭、陰性 738頭	(計 823頭検査)
富山県	陽性 50頭、陰性 202頭	(計 252頭検査)
石川県	陽性 23頭、陰性 236頭	(計 259頭検査)
福井県	陽性 59頭、陰性 520頭	(計 579頭検査)
山梨県	陽性 13頭、陰性 148頭	(計 161頭検査)
長野県	陽性 198頭、陰性 524頭	(計 722頭検査)
岐阜県	陽性 1,180頭、陰性 1,983頭	(計 3,163頭検査)
静岡県	陽性 174頭、陰性 1,273頭	(計 1,447頭検査)
愛知県	陽性 131頭、陰性 1,453頭	(計 1,584頭検査)
三重県	陽性 70頭、陰性 1,493頭	(計 1,563頭検査)
滋賀県	陽性 180頭、陰性 509頭	(計 689頭検査)

※上記12県以外では2,075頭実施、全て陰性

(農林水産省HPより)

※令和2年4月24日時点で、福島県内では感染野生いのししは確認されていません。

海外からの肉製品の違法な持込みへの対応 がさらに厳格化されます

現在、多くの国で、口蹄疫やアフリカ豚熱等の家畜の伝染病が発生しており、畜産関係者の皆さまは、発生してる国への渡航を控えていただくことが望ましいところですが、やむを得ず渡航する場合は国内へ病原体を持ち込まないために次の点にご注意ください。

海外へ行かれる方へ

- 肉製品など畜産物の国内への持込みは**事前申請、検査証明書**が必要です。おみやげや個人消費用の畜産物は検査証明書の取得が難しいため、肉製品や動物由来製品のほとんどは、日本へ持ち込むことができません。
- 加熱調理したもの、機内食、免税店で買った肉製品**等も持ち込みできません。

家畜伝染病予防法で違法な肉製品の持込みは禁止されており、動物検疫所の職員により手荷物が検査されます。**このたび、法が改正され、2020年7月から違反した場合の罰則金が大幅に引き上げられます。**



管内の放牧場が開牧しています！

現在、当所管内には、郡山石筵ふれあい牧場、いわき市菅荻牧野・芝山牧野の3か所の放牧場があり、いずれも毎年10～25頭前後が放牧されております。今年度は芝山牧野が4月24日に開牧し、荻牧野が5月1日、郡山石筵ふれあい牧場が5月中旬頃の開牧する予定です。

放牧することで多くのメリットがありますので、ぜひ奮ってご利用ください。

【放牧のメリット】

- 広い牧野を歩くことで足腰が強くなり、心肺機能が向上する
- 飼料費・管理費・労働費といった生産コストの低減につながる
- 飼料の生産・給与、糞尿処理にかかる労力を減らせる

令和2年4月24日芝山牧野開牧



令和2年度中央家畜保健衛生所体制

所長 坂本秀樹

主任専門獣医技師 篠木 忠
兼次長

衛生指導課

衛生指導課長

荻野隆明

- 農家への家畜衛生対策の指導
- 動物用医薬品の適正使用・販売の監視・指導
- 家畜排せつ物の適正処理の指導 等

主査(キャップ)
千葉涼子

主任獣医技師
星陽子

副主査
本田雅彦

専門員
佐藤良江

主査
佐藤善助

獣医技師
喜多見はるか

専門員
根本光輔

専門員
鈴木美奈子

防疫課

防疫課長

鎌田泰之

- 家畜伝染病の発生予防、まん延防止の対策
- 飼養衛生管理基準の指導 等

主任獣医技師
佐藤妙子

主任獣医技師
渡邊香織

副主任獣医技師
清野頼十

獣医技師
町田拳

主任獣医技師
三瓶佳代子

副主任獣医技師
土山喜之

獣医技師
田川麻衣

獣医技師
蛭田彩子

専門員
根本文敬

臨時技術職員
安田千穂

病性鑑定課

病性鑑定課長

佐藤敦子

- 家畜疾病の原因特定
- ・病理担当 ・ウイルス担当 ・細菌担当 ・生化学担当 ・BSE担当

主任獣医技師
齋藤美緒

副主任獣医技師
今井直人

獣医技師
寺本直輝

獣医技師
岩永海空也

主任獣医技師
橋本知彦

獣医技師
神川綾香

獣医技師
西郷智貴

会計年度任用技能職員
飯村正明

安全対策・監視課

安全対策監視課長

松本裕一

- 特定家畜伝染病の情報収集及び提供
- 特定家畜伝染病発生時の対策・連絡調整
- 備蓄防疫資材の管理 等

主任獣医技師
大倉直子

獣医技師
齋藤由美子

よろしく
お願いします

